

平成 25 年度 第 1 回 石狩市文化財保護審議会 議事録

■日時：平成 25 年 7 月 25 日（木）10:00～11:40

■会場：石狩市民図書館研修室 1

■出席者

石狩市文化財保護審議会委員

- ・村山耀一
- ・百瀬響
- ・宮野裕子
- ・加藤和子
- ・三浦泰之
- ・小杉康
- ・鈴木明彦

事務局

- ・百井宏己（生涯学習部長）
- ・工藤義衛（文化財課長）
- ・志賀健司（主査・学芸員）
- ・荒山千恵（主事・学芸員）

■欠席委員

- ・菅原晴美

■傍聴者

なし

■議事

1. 生涯学習部長あいさつ（省略）
2. 会長あいさつ（省略）
3. 報告① 平成 24 年度文化財関係事業について
（事務局より報告。内容は配布資料を参照）

鈴木：はまます郷土資料館にはどのような展示がされている？

工藤：ニシン漁に関するもの、浜益の遺跡に関するものを展示。

村山：各館の入館者数は予想通り？

工藤：浜益は補修のため半年休館して人数が減ったが、その後だんだんと戻ってきた。厚田資料室は、そこで取り上げている戸田城聖の関係団体の方々が多く入館している。

小杉：はまます資料館は漁場の展示としての整備が進んでいるとのことだが、先の答申後の動きは？

工藤：やはり建物の老朽化の問題が一番大きい。近い将来、ある程度の改修工事が必要だろう。そのためにも館内にぎっしり収蔵されている資料を整理しておく必要があった。また 3 館とも施設の問題が非常に大きい。やはりきちんとした機能を持った中枢施設が必要だろう。また、エコミュージアムとして市内の自然遺産・文化遺産を活用していくためにも施設整備が欠かせない。また図書館や公民館との連携も望まれている。そんな方向で調整を進めているところである。

村山：浜益は今はまだ資料の整理が終わった段階で、整備はこれから、ということだろう。

3. 報告② 平成 25 年度文化財関係事業について

(事務局より報告。内容は配布資料を参照)

小杉：「勾玉づくり」を開催するが、勾玉は石狩で出土している？

工藤：本当の勾玉は出ていないが、石製の装飾品が出土している。ただそれを作るのは難しいので、一般的な勾玉をテーマとしている。

小杉：体験的な活動を通して石狩の歴史や文化を考える切っ掛けになると望ましい。ただ単にやって楽しかった、で終わらないように計画されると良い。石狩でやっている、という意味を工夫されると良い。埋蔵文化財も活用していただきたい。

村山：そういうものを通して、市民が石狩の自然や歴史を知ることになる。作ること自体が目的ではないので、単なる工作に終わらないとよい。

加藤：勾玉づくり講座では、作る前に学芸員に、勾玉の持つ意味について説明してもらっている。

百瀬：石狩ファイルによると昭和 40 年代にハマナスの香水の工場があったというような記述があるが、そのような香水を作る講座などがあると面白い。

村山：テンキはハマニンニクを使用するが、普通のニンニクの葉でも材料になる？

荒山：分類的にはまったく別のグループなので、難しいのでは。

村山：資料館のスタッフが少ない中で、講座、展示など多く開催し、非常に活発な活動をしていると言える。

3. 報告③ 石狩さけまつり 50 回記念事業

(事務局より報告。配布資料を参照)

村山：石狩の場合、花川に多くの住民がいるので、図書館やコミュニティセンターなどで、少し展示があっても良いと思っていた。今回、そのような機会が増えるので、よいと思う。

百瀬：ぜひ食育はやっていただきたい。今時の学生は、魚を切身しか知らない。捌くところなども教えていただきたい。

3. 報告④ 文化遺産を活かした地域活性化事業

(事務局より報告。配布資料参照)

百瀬：伝統芸能の映像記録は、これまで作ってなかった？

工藤：これまで地域の方は全員、祭などに関わるので、誰も撮影などする余裕がなかった。

村山：形のないものだし過疎化の進んでいる地域であるから、今やらなければいけない大事なことである。

小杉：これを一つの切っ掛けとして、今後、新しい事業につなげていく起爆剤になりそうである。今後の展開はどのように考えている？

工藤：祭のとき以外に実演する機会などは持てないので、このような映像を学校の授業で見てもらうなど活用できる。

村山：芸能を演技している部分だけではなく、準備している所なども記録しておかないと、後々、再現することはできないのではないだろうか。

工藤：準備の段階から映像化してもらおうと考えている。

小杉：図書館の映像ライブラリーとして、このような物を充実させていくとよい。

鈴木：記録映像を公開することでプライバシーなど倫理的には問題はない？

工藤：事前に被写体に趣旨を説明し、公開が前提であるという了解を取ることが必要だろう。

宮野：サケの工芸展は、サケだけ？ 例えばサケとクマの置物などは？

工藤：すでに集め始めているが、基本的にはサケだけだが、一部、そのような複合的なものもあるようである。

以上

議事録を確認しました。

平成 25 年 8 月 10 日
石狩市文化財保護審議会
会長 村山耀一